

令和元年8月6日

内閣総理大臣

安倍晋三 殿

沖縄県知事

玉城 デニー

## 沖縄鉄軌道の事業化に向けた取組に関する要請について

沖縄県は、基幹的公共交通システムである鉄道を有していない唯一の県であり、沖縄本島を縦貫し、骨格性、速達性、定時性を備えた鉄軌道の導入は、県民の長年の悲願であります。

那覇と名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入により、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、交通渋滞の緩和、基地返還跡地のまちづくりの推進等に大きく寄与するとともに、沖縄の経済振興、ひいては我が国の成長に貢献できるものと考えております。

沖縄県においては、平成30年5月に「沖縄鉄軌道の構想段階における計画書」を策定し、これを踏まえ、鉄軌道とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて取組を進めているところであります。

構想段階の次の事業化に向けた具体的な検討を行う計画段階等においては、国の主体的な取組が必要不可欠であります。

戦後、鉄道の復旧がなされないまま、基地周辺での無秩序な市街地の形成、急激な自動車交通の増大などによる慢性的な交通渋滞などの問題が生じている本県において、鉄道の導入は、沖縄21世紀ビジョンで掲げる県民が望む沖縄の将来像実現の象徴となる事業であり、是非とも実現したいと考えております。

つきましては、下記のとおり要望いたしますので、特段の御高配を賜りますようお願いいたします。

## 記

- 1 全国新幹線鉄道整備法を参考とした特例制度の創設に向けた取組を加速すること
- 2 国による事業実施に向けた取組に早期着手すること